

お見送りの 気持ちを込めて

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

先日、出張先から成田に戻ってきた便で、海外から日本へのご旅行と思われるお客さまが、到着後もしばらくお座席で画面を見つめていらつしゃいました。JALグループでは、お客さまが飛行機をお降りになる際、お見送りの気持ちを込めて映像をご用意していますが、それを大変熱心にご覧いただいていたようでした。

皆さまお気づきになりましたでしょうか？ 年初にこの映像を12年ぶりにリニューアルいたしました。これまでは、日本ならではの四季折々の風景を表現していましたが、今回は舞踊家や料理人、工芸品の職人など、日本各地で伝統文化や芸術を担う方々の繊細な技術や所作、礼を重んじる姿勢を表現しています。「人」が育んできた日本らしさ・日本の美しさを、音楽にあわせて感じただけだと嬉しく思います。

「伝統」といってどこか古めかしいイメージを持たれるかもしれませんが、どの匠の方々も、時代を超えて脈々と伝わる技や心を大切にしつつ、新しい技術や文化からも刺激を受け、独自の価値を見つけて「革新」を続けていらつしゃいます。「伝統と革新」という、対極ともいえる価値を兼ね備えたその姿に社員も感銘を受け、「この方々のようでありたい」という声が多くありました。



昨今、海外からたくさんのお客さまをお迎えしていますが、その新鮮な目線からも、こうした日本の素晴らしさを教えていただいているような気がしています。

これから旅を楽しむ方、お仕事に向かわれる方、ご帰宅される方、全てのお客さまが飛行機を降りた後も清々しい気持ちで心地よく、目的地まで向かわれますよう。どうぞお気をつけて行ってらつしゃいませ。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部部長、2020年に執行役員客室本部長、2022年に常務執行役員客室本部長、2023年に専務執行役員カスター・エクスプレス部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



たびとりどり

代表取締役社長 グループCEO

鳥取三津子